



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月14日

上場会社名 株式会社ハピネット 上場取引所 東
 コード番号 7552 URL <https://www.happinet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 誠一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画室長 (氏名) 石丸 裕之 (TEL) 03-3847-0410
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	140,370	12.1	3,278	26.1	3,495	26.5	2,254	32.0
2022年3月期第2四半期	125,189	12.4	2,600	33.5	2,763	36.6	1,707	35.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,260百万円(52.0%) 2022年3月期第2四半期 1,486百万円(△37.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	101.93	99.59
2022年3月期第2四半期	77.72	75.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	97,180	44,880	45.6
2022年3月期	85,325	43,494	50.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 44,361百万円 2022年3月期 42,785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	25.00	—	40.00	65.00
2023年3月期	—	25.00			
2023年3月期(予想)			—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期の期末配当金の予想値につきましては、当社の利益配分に関する基本方針に基づき安定的な配当を記載しております。2023年3月期の期末配当金につきましては利益配分に関する基本方針に基づき、別途検討いたします。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	△0.9	5,300	△4.9	5,500	△6.0	3,300	△7.2	150.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	24,050,000株	2022年3月期	24,050,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,864,283株	2022年3月期	2,038,983株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	22,116,388株	2022年3月期2Q	21,967,294株

- (注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」及び「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有している当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、2022年11月14日に当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの関連業界におきましては、少子化や消費者ニーズの多様化、デジタル化が進む中で、国際情勢の変化などもあり、先行きが不透明な状況で推移しております。一方で、ウィズコロナの新たな段階への移行が進み、景気に持ち直しの動きもみられました。

このような状況の中、当社グループの経営成績につきましては、玩具事業やアミューズメント事業が引き続き好調に推移したことや、ビデオゲーム事業でヒット商品があったことにより、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,403億7千万円(前年同期比12.1%増)、営業利益は32億7千8百万円(同26.1%増)、経常利益は34億9千5百万円(同26.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億5千4百万円(同32.0%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①玩具事業

玩具事業につきましては、BANDAI SPIRITSの「一番くじ」を始めとしたくじ関連商品が依然好調に推移していることや、トレーディングカードで「ポケモンカードゲーム」や「ONE PIECE カードゲーム」などのヒット商品があったことに加え、適正在庫の維持による在庫評価損失の減少により、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。

この結果、売上高は597億6千万円(前年同期比24.4%増)、セグメント利益は21億5千5百万円(同40.6%増)となりました。

②映像音楽事業

映像音楽事業につきましては、前年同期と比較して大きなヒット商品に恵まれなかったことに加え、滞留在庫の評価損失や当社出資映像作品の興行が低調に推移したことによる作品投資損失が発生し、売上高、利益面ともに前年同期を下回りました。

この結果、売上高は332億9千9百万円(前年同期比2.6%減)、セグメント利益は1億9千万円(同61.4%減)となりました。

③ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業につきましては、ゲームハードは半導体不足などの影響が依然として続き、低調に推移しているものの、ソフトで「スプラトゥーン3」がヒットしたことや、利益率の高い当社独占流通作品の売上が拡大したことにより、売上高、利益面ともに前年同期を上回りました。

この結果、売上高は322億8千3百万円(前年同期比2.0%増)、セグメント利益は5億8千6百万円(同30.8%増)となりました。

④アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、当社が運営するカプセル玩具ショップ「ガシャココ」の新店や新規ロケーションの拡大に加え、「ONE PIECE」関連商品などが好調に推移し、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。なお、「ガシャココ」は2022年9月末日時点で62店舗を出店しております。

この結果、売上高は150億2千7百万円(前年同期比32.8%増)、セグメント利益は9億9千4百万円(同32.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ118億5千5百万円増加し、971億8千万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少16億8千7百万円及び受取手形及び売掛金の増加134億3千3百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ104億6千8百万円増加し、522億9千9百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加115億6千万円及び未払法人税等の減少8億3千6百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ13億8千6百万円増加し、448億8千万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加22億5千4百万円及び剰余金の配当による利益剰余金の減少8億8千5百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月11日の「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました2023年3月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,358	21,671
受取手形及び売掛金	29,584	43,018
電子記録債権	4,326	2,868
棚卸資産	6,383	7,840
その他	3,957	4,688
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	67,607	80,083
固定資産		
有形固定資産	1,165	1,164
無形固定資産		
のれん	383	279
その他	1,774	1,803
無形固定資産合計	2,158	2,083
投資その他の資産		
投資有価証券	9,162	8,988
その他	5,252	4,880
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	14,393	13,848
固定資産合計	17,717	17,096
資産合計	85,325	97,180
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,413	38,973
未払法人税等	1,510	674
賞与引当金	440	255
役員賞与引当金	207	-
その他	7,480	7,182
流動負債合計	37,051	47,086
固定負債		
株式給付引当金	192	241
役員株式給付引当金	-	2
退職給付に係る負債	3,242	3,307
その他	1,344	1,662
固定負債合計	4,779	5,213
負債合計	41,831	52,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	2,953	3,322
利益剰余金	35,981	37,349
自己株式	△1,810	△1,978
株主資本合計	39,875	41,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,900	2,915
繰延ヘッジ損益	9	0
その他の包括利益累計額合計	2,909	2,915
新株予約権	709	519
純資産合計	43,494	44,880
負債純資産合計	85,325	97,180

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	125,189	140,370
売上原価	111,671	124,826
売上総利益	13,518	15,543
販売費及び一般管理費	10,917	12,265
営業利益	2,600	3,278
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	100	125
持分法による投資利益	0	-
為替差益	11	54
新型コロナウイルス感染症による 助成金収入	9	6
その他	42	50
営業外収益合計	164	238
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	-	20
その他	1	0
営業外費用合計	1	21
経常利益	2,763	3,495
特別利益		
固定資産売却益	0	-
投資有価証券売却益	-	87
会員権売却益	-	1
特別利益合計	0	89
特別損失		
固定資産売却損	3	-
固定資産除却損	1	7
関係会社出資金評価損	52	-
特別損失合計	57	7
税金等調整前四半期純利益	2,706	3,577
法人税、住民税及び事業税	736	720
法人税等調整額	263	602
法人税等合計	999	1,323
四半期純利益	1,707	2,254
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,707	2,254

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,707	2,254
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△213	15
繰延ヘッジ損益	△7	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△220	5
四半期包括利益	1,486	2,260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,486	2,260
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,706	3,577
減価償却費	414	501
のれん償却額	104	104
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2	△184
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	△207
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	37	65
受取利息及び受取配当金	△101	△126
支払利息	0	0
固定資産除売却損益 (△は益)	4	7
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△87
会員権売却損益 (△は益)	-	△1
関係会社出資金評価損	52	-
為替差損益 (△は益)	0	△0
持分法による投資損益 (△は益)	△0	20
売上債権の増減額 (△は増加)	△948	△11,975
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,691	△1,457
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,635	11,560
その他	△1,501	△793
小計	1,714	1,005
利息及び配当金の受取額	101	126
持分法適用会社からの配当金の受取額	57	67
法人税等の支払額	△1,313	△1,544
法人税等の還付額	2	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	561	△345
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	32	-
有形固定資産の取得による支出	△150	△199
有形固定資産の売却による収入	0	15
無形固定資産の取得による支出	△118	△389
無形固定資産の売却による収入	0	-
投資有価証券の取得による支出	△659	△5
投資有価証券の売却による収入	-	188
その他	△38	△66
投資活動によるキャッシュ・フロー	△933	△457
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	0	0
配当金の支払額	△550	△884
財務活動によるキャッシュ・フロー	△550	△884
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△922	△1,687
現金及び現金同等物の期首残高	21,744	23,330
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	215	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,037	21,643

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム 事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	48,035	34,202	31,638	11,313	125,189	—	125,189
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	48,035	34,202	31,638	11,313	125,189	—	125,189
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	48,035	34,202	31,638	11,313	125,189	—	125,189
セグメント利益	1,532	493	448	749	3,224	△623	2,600

(注) 1. セグメント利益の調整額△623百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△623百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム 事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	59,760	33,299	32,283	15,027	140,370	—	140,370
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	59,760	33,299	32,283	15,027	140,370	—	140,370
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	59,760	33,299	32,283	15,027	140,370	—	140,370
セグメント利益	2,155	190	586	994	3,926	△648	3,278

(注) 1. セグメント利益の調整額△648百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△648百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。